

平成26年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

平成26年6月17日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



稚貝の付着は、継続中。

< 調査結果の概要 >

- 6月16日の唐丹湾の定点調査では水深0m～50mの水温が8～12℃台であり、6月に入りあまり水温上昇が見られませんでした。また、小型ラーバは増加してきており、付着稚貝の数も増加傾向にあり、大型の稚貝もかなり見受けられます。
- 宮古湾や唐丹湾でも付着稚貝が多数確認されています。
- 定点調査では、ムラサキイガイの付着稚貝数がホタテガイの付着稚貝数と同程度となっています。

< 気仙沼地方の状況（6月11日発行宮城県ホタテガイ採苗通報） >

- 大型ラーバの明瞭な出現ピークが見受けられないことも想定されていますが、採苗器の投入を勧めています。

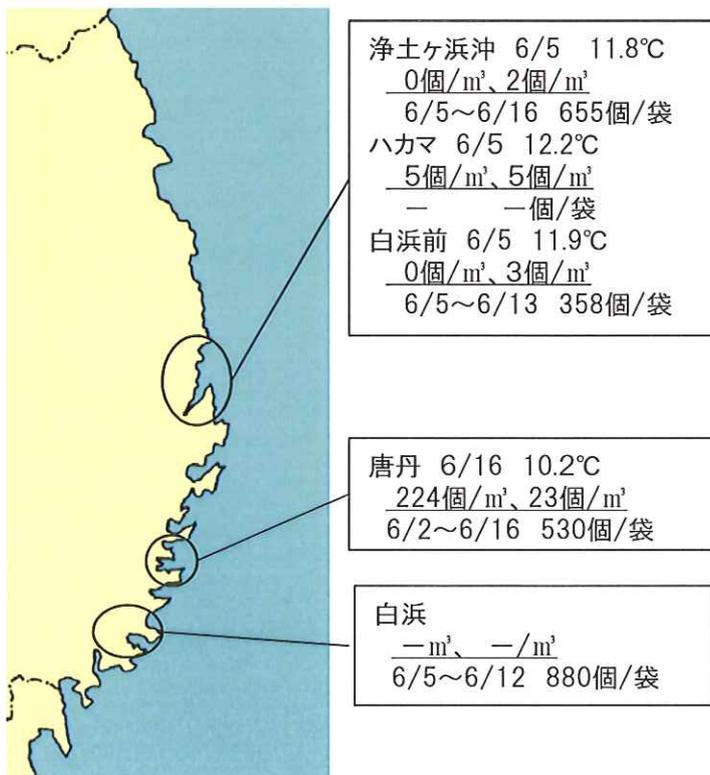


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、6月24日に発行する予定です。

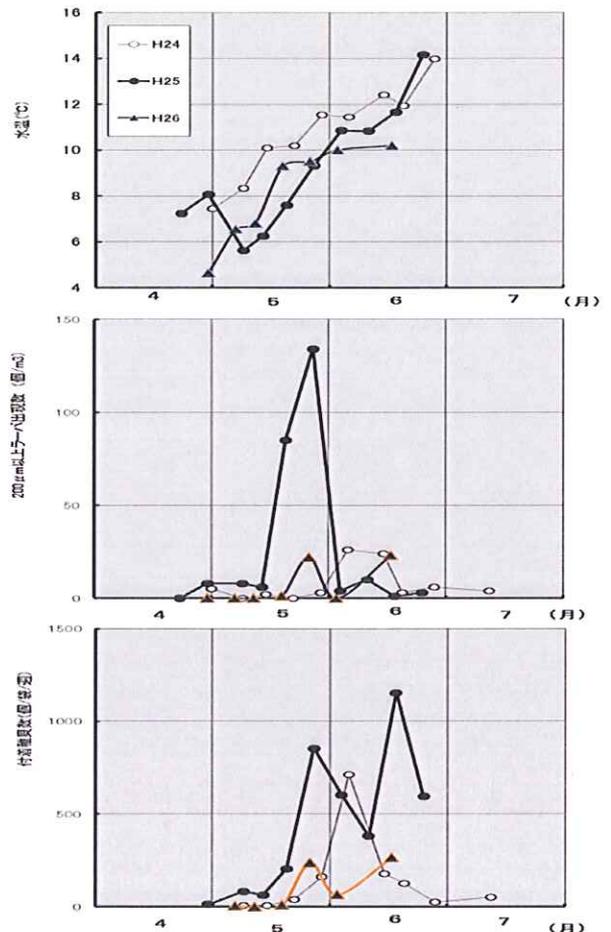


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況